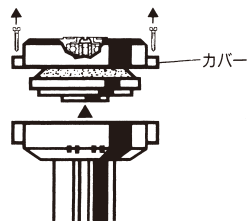


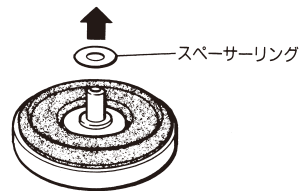
メンテナンス

砥石を調整する

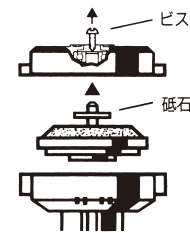
- 使用回数が100回ほどすぎたら、砥石を調整してください。
- ❶カバーをはずします。
- 取り付けビスは左右2ヶ所です。



- ❷スパーサーリングを取りはずします。
- 砥石を回したとき、ガリガリとかまない程度に調整します。
- スパーサーリングは1枚入っています。調整のぐあいで取りはずしてください。
- スパーサーリングはなくさないようにしてください。砥石を交換するとき必要になります。



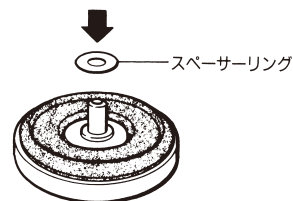
- ❸カバー中心の太いビスをはずし、砥石を取りはずします。



- ❹砥石をカバーに取り付けます。
- ❺カバーを本体に取り付けます。

砥石を交換する

- 使用回数が200回になったときは、砥石を交換してください。
- ❶上記〔砥石を調整する〕の❶❷の要領で砥石を取りはずします。
- ❷新しい砥石にスパーサーリングを1枚取り付けます。



仕様

対応ドリルビット	スチール製ドリルビット
研磨ドリル径範囲	2.5～10mm (20サイズ対応) 2.5 2.8 3.0 3.3 3.5 3.8 4.0 4.5 4.8 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 7.5 8.0 8.5 9.0 9.5 10
適応機種	首径43mmφの電気ドリルおよび振動ドリル
最適回転数	2,000～3,000回転/分（無負荷時）
研磨角度	118°
取付径	43mmφ
砥石径	80mm
重量	440g
外寸	100mm×155mm
ボディ	グラスファイバー強化ポリアミド樹脂

- 改良のため、本体およびアクセサリ類の仕様は予告なく変更する場合があります。

- この取扱説明書に記載されている、日本仕様有能力・型番などは、外国語の印刷物と異なる場合があります。
- カタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店、または弊社までお問い合わせください。



BOSCH

ボッシュ 株式会社

電動工具事業部

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7 TEL.03 (5485) 6161 (代表)
ホームページ：http://www.bosch.co.jp
コールセンターフリーダイヤル（無料）*

0120-345-762（土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00のサービス）

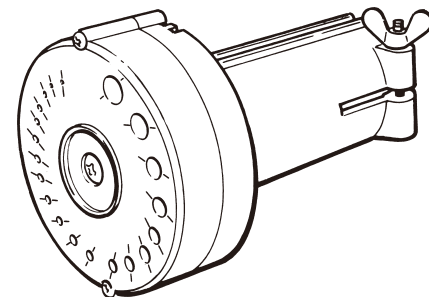
*電話番号が03及び04…で始まる地域のお客様及び携帯電話からお掛けのお客様には、03（5485）6161をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。



BOSCH

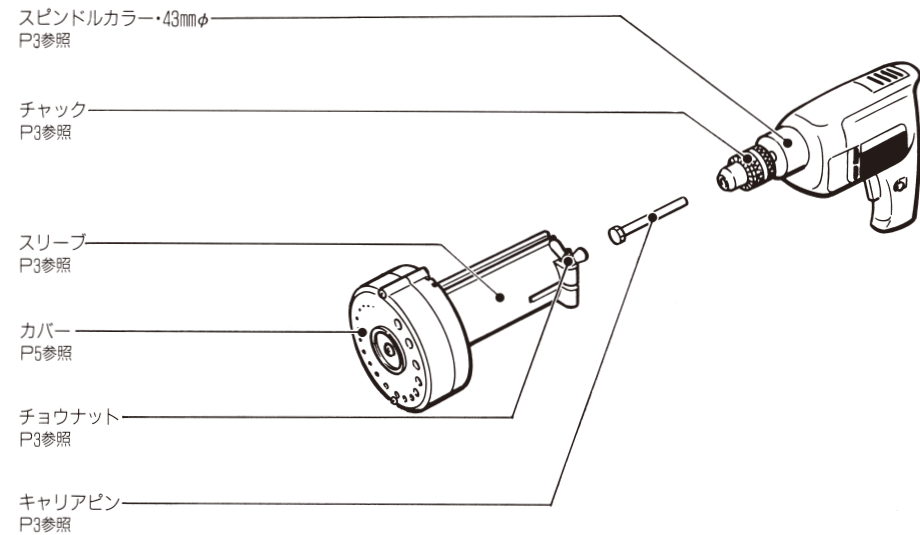
ドリルビットシャープナー

S41



- このたびは〔ドリルビットシャープナー〕をお買い求めいただき、ありがとうございます。
- 作業現場で、鉄工ドリルビットの研磨が手軽に行えます。
- ご使用になる前に、この〔取扱説明書〕をよくお読みになって、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管し、わからないことが起きたとき、もう一度お読みください。

各部の名称



※ドリルは付属していません。お手持ちのスピンドルカラー部が43mmφのドリルをご用意ください。

標準付属品

- キャリアピン P3参照
- 砥石(取付済) (品番:2 608 600 029) P5参照



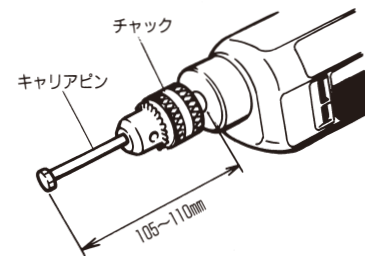
ご使用前に

- 本機はスチール製ドリルビット研磨用です。カーバイト加工ドリルビット・コンクリートビットは研磨できません。
- 本機を使用するときは、スピンドルカラー部が43mmφのドリルが必要です。
- 振動ドリル本体を使用するときは、かならず切替レバーを普通ドリルに合わせ、振動では使用しないでください。
- ハンマードリルは使用できません。

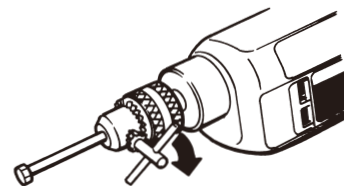
研磨する前に

キャリアピンを取りつける

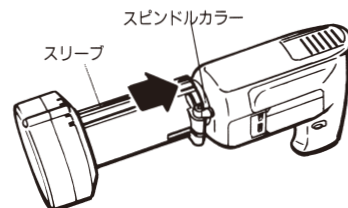
- スピンドルカラー部が43mmφのドリルをご用意ください。
- キャリアピンを紛失したときは〔M8・長さ75mmぐらい〕の標準六角ボルトをご使用ください。
- ① キャリアピンをドリルのチャックに差しこみ、長さを調整します。
- スピンドルカラーからキャリアピンの先端まで約105～110mmにします。



- ② チャックをしめ、キャリアピンを固定します。



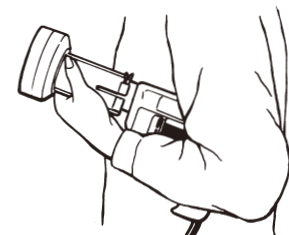
- ③ スリーブにスピンドルカラーが入るまで、しっかりと差しこみます。



研磨する

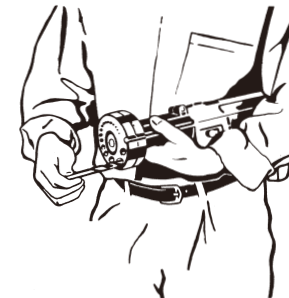
ドリルビットを研磨する

- ドリルビットの先端がかなり摩耗しているときは、あらかじめ市販の研磨器具であら削りしてください。
- 変速できるドリルを使用するときは、ドリルの回転数を最大にセットします。
- ① シャープナーを取りつけたドリルを片手に持ちます。
- ドリルを抱えこむようにし、シャープナーを手で押さえます。

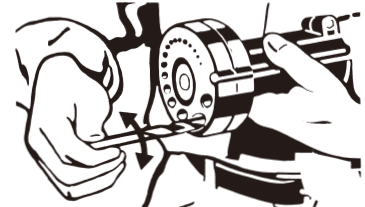


- ② ドリルのスイッチを入れます。
- ドリルの取扱説明書を参照してください。

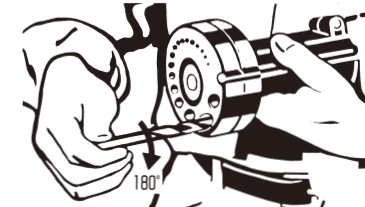
- ③ 先端が摩耗したドリルビットを、シャープナーの穴の奥まで差しこみます。
- できるだけあそびの少ない小さな穴を選び、ピッタリと差しこむようにします。



- ④ ドリルビットをゆっくり、速くを10回ほど（小さい径のドリルビットでは5回ぐらい）くりかえし、左右に少し回します。
- ドリルビットを指先で持ち、砥石にかかるく押しつけるようにします。
- 片側の研磨がおわります。



- ⑤ ドリルビットを少しぬき出し、180°回してからまた差しこみ、④の要領で残った片側を研磨します。



- ⑥ ドリルビットの両面が鋭くなるまで、④と⑤の作業をくりかえします。
- 切れ刃の左右が均一になるように研磨してください。



NOTE

- 研磨したドリルビットでうまく作業できない場合は、一段階大きい穴でもう一度研磨しなおしてください。

ご注意

- 切れ刃や逃げ面が変色するほど、強く砥石に押しつけないでください。